

講義コード	201008G
講義科目名称	国際関係論【作業療法】
英文科目名称	International Relations Theories
講義期間	前期
学科	適用 - リハビリテーション学科作業療法学(2025)
配当年	1
単位数	2
科目必選区分	選択
授業形態	講義
担当教員	天野 修司
曜日・時限	前期 木曜日 3時限 3 1 1 教室
関連するディプロマポリシー	DP DP DP

授業概要	近年、国際情勢は、緊迫の度合いを増している。果たして、これから、世界は、どうなるのか？そのような疑問に答えを出すことができる唯一の学問が、「国際関係論」である。その知識を使えば、世界の「今」を正しく理解することはもちろん、ある程度、起こりうる「未来」を予測することも可能になる。 本講義の前半部分では、国際関係論の基礎的な知識を身につける。後半部分では、ロシアによるウクライナ侵攻、米中対立、台湾問題、日韓関係、北朝鮮による核・ミサイル兵器開発などの時事問題について考察する。
学修の到達目標	本講義を通じて、学生自身が、自らの力で、国際情勢を正確に分析できるようになることが目標である。
予習・復習の内容およびそれに必要な時間	予習：毎回の授業で、新しい知識を身につけるので、予習は必要としない。 復習：新聞やテレビ、ネットなどで、世界のニュースを確認し、授業の内容との関連性について考える（45 - 60分）。 中間レポートおよび最終レポートの作成に向けて、教科書を使って知識を整理する（30分）
成績評価の方法・基準	毎回のレポート課題（60%）、中間レポート課題（20%）、最終レポート課題（20%）で評価する。
試験・レポート等に対するフィードバックの方法	中間レポートのフィードバックとしては、学生が書いたレポートの内容を授業のなかで取り上げて、解説する。毎回のレポート課題および最終レポートについては、NIMSポータルでフィードバックを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN
1.	『地政学だけではわからないシ』	天野修司	イースト・プレス	2022	978-4781621036
2.					
3.					

参考図書

No	書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN
1.					
2.					
3.					

教員からのメッセージ	「国際関係論」の授業は、毎年、非常に人気があって、300名を超える学生が受講している。先輩たちからは、「世界の見え方が変わった」、「国際情勢に関心が持てるようになった」という感想が数多く寄せられている。グローバルな課題についての理解を深め、国際的な感性を持った医療人になろう。		
当該科目に関連する職歴と科目への活かし方	実務経験の有無：		
その他			
参考URL	表示名：		
	URL：		
授業方式	オンライン授業	対面授業	併用
		○	

	回数	テーマ	内容
授業計画	1	イントロダクション	国際関係論の全体像と現代的な意義を考察する
	2	国際関係論の萌芽	国際関係論の思想的起源を理解する
	3	繰り返し起きる戦争	戦争が、常に同じようなパターンで起きていることを理解する
	4	2つの世界大戦	2つの世界大戦を経て、国際関係論が体系化されたプロセスを理解する
	5	中間レポート	中間レポートの作成を通じて、戦争が起きるメカニズムを理解する
	6	中間レポート	中間レポートの作成を通じて、戦争が起きるメカニズムを理解する
	7	バランス・オブ・パワー理論	バランス・オブ・パワー理論の妥当性について考察する
	8	核抑止の理論	核抑止の理論の妥当性について考察する
	9	デモクラティック・ピース理論	デモクラティック・ピース理論の妥当性について考察する
	10	国際レジーム論	国際レジーム論の妥当性について考察する
	11	ゲーム理論	ゲーム理論の妥当性について考察する
	12	実践演習	実践演習を通じて、世界の今を正しく理解する
	13	世界の未来	国際関係論を用いて、世界の未来を予測する
	14	最終レポート	最終レポートの作成を通じて、国際関係論の知識を整理する
	15	最終レポート	最終レポートの作成を通じて、国際関係論の知識を整理する

授業計画	回数	テーマ	内容
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			